

平成 27 年度 検証結果報告書 (徳島大学)

動物実験に関する検証結果報告書

(徳島大学)

動物実験に関する外部検証事業

(国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会)

平成 28 年 3 月

平成 28 年 3 月 29 日

徳島大学
学長 香川 征 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する外部検証事業
検証委員会 委員長



対象機関：徳島大学
申請年月日：平成 27 年 7 月 27 日
訪問調査年月日：平成 27 年 12 月 17 日
調査員：山本 博（富山大学）
久保 薫（奈良県立医科大学）
下田 耕治（慶應義塾大学）

検証の総評

徳島大学は明治 7 年 5 月 1 日創立の徳島師範学校を源とし、2 キャンパスに 5 学部、大学院として 7 教育部、3 研究部を擁し、共同教育研究施設等として 16 施設を持つ長い歴史ある国立大学である。蔵本キャンパスを中心に、げっ歯類、ウサギ、モルモット、イヌ、ブタ等を対象に動物実験が実施されている。

「徳島大学動物実験管理規則」のもとで全学動物実験委員会を設置し、動物実験計画の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開等が、文部科学省の基本指針および環境省の実験動物飼養保管基準に則して概ね適正に実施されている。動物実験の体制整備を円滑に推進する目的で全学委員会の下位に作業部会が設置されている。平成 26 年度は学内 7 か所の施設で実験動物の飼養保管および動物実験が行われている。一部の部局には全学動物実験委員会とは別に独自の動物実験委員会が存続しているが、作業部会を含むこれらの組織の役割分担や関係性を明確にし、必要に応じて整理統合されたい。

以上の点を総合的に判断すると、徳島大学における動物実験は、概ね適正に管理・実施されているものと判断される。今後とも個々の飼養保管施設の整備・維持管理に努め、さらなる良好な体制を維持し、適正な動物実験の実施が継続されることを期待する。

以上の点を総合的に判断すると、徳島大学における動物実験は、概ね適正に管理・実施されているものと判断される。今後とも個々の飼養保管施設の整備・維持管理に努め、さらなる良好な体制を維持し、適正な動物実験の実施が継続されることを期待する。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「徳島大学動物実験管理規則（平成 24 年 4 月 1 日施行）」が定められ、その内容は基本指針に則したものである。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「徳島大学動物実験管理規則」の中で基本指針に則した委員会の役割や委員構成等が定められている。12 名の委員により構成される動物実験委員会が学長の下で組織されている。また、「徳島大学動物実験委員会規則」に定められている作業部会の存在は動物実験委員会の活動を補佐する独自の工夫と思われる。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見

一部の部局には全学動物実験委員会とは別に独自の動物実験委員会が存在し、それぞれに対応した委員会規則も存在している。作業部会および各部局委員会と全学委員会との役割分担や関係性を明確にし、必要に応じて整理統合されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「徳島大学動物実験管理規則」のもとで、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続きに必要な各種様式が定められている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「徳島大学遺伝子組換え実験安全管理規則」「徳島大学毒物及び劇物管理規則」「徳島大学病原体等安全管理規則」「徳島大学放射線障害予防規程」「徳島大学における廃棄物等の管理及び処理規則および実験動物搬入申込書」等、安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程等が定められ、実施体制が整備されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。

- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

大学内に 7 か所の飼養保管施設があるが、すべての施設に管理者および実験動物管理者が定められ、基本的な管理体制が整備されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

特になし。

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 全学動物実験委員会が設置され、動物実験計画の審査、実施結果に対する助言、飼養保管施設や実験室の視察、教育訓練、自己点検・評価等、基本指針や機関内規程に定められた動物実験委員会の活動が適正に実施され、議事録も保管されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針や機関内規程に則して動物実験計画の審査が行われ、平成 26 年度には 118 件の計画が承認されていた。また、実施結果報告書の提出率が 100%であることは高く評価できる。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない

2) 自己点検・評価の妥当性

特殊実験区分（感染実験、化学発癌・重金属使用実験、放射線同位元素・放射線使用実験、遺伝子組み換え動物実験）は適正に実施されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない

4) 改善に向けた意見

遺伝子組換え動物の飼育を示す表示は全学で統一されたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

すべての部局の飼養保管施設において「動物実験の実施に関するマニュアル」が整備され、飼養保管に関する作業日誌あるいは日報等の記録が保存されている。また、自己点検報告書（飼養保管施設管理状況）の提出が義務づけられている。全学動物実験委員会により学内の飼養保管施設が把握されており、各施設の実験動物管理者のもとで良好に飼養保管が実施されている。改修前の感染事故の経験を踏まえて、平成 22 年度の改修後は全ての飼養保管施設にて定期的に微生物モニタリングが実施されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼養保管施設の整備状況や設備については、医歯薬学研究部動物資源研究部門動物実験施設では平成 22 度に全館空調機器の更新と飼育スペースのレイアウト変更を目的とした大型改修工事が実施された。さらに平成 26 年度に ESCO 事業により空冷ヒートポンプチラーを増設した。疾患プロテオゲノム研究センター動物実験施設では平成 26 年度に飼育室・実験室の増設のための改修工事が行われた。その他の飼養保管施設においては飼育室や飼育装置等が適正に整備されていることが、全学動物実験委員会の定期視察報告書に記載されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 年々、実験動物数が増加していることを考慮し、長期的展望で飼育スペースの拡張などを検討されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 全学動物実験委員会による教育訓練が実施され、平成 26 年度の教育訓練受講者は 769 名であった。また、教育訓練の実施記録や受講者の記録等がよく整理されており、基本指針や実験動物飼養保管基準に適合した教育訓練が実施されている。よって、自己点検・評価の結果は妥当であ

る。
3) 検証の結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 実験動物管理者の教育については地域の研究会への参加や、日本実験動物学会が行う実験動物管理者講習会の受講等も検討されたい。また、教育訓練には有効期限が設定されていないので、再受講のために有効年数を定めることや関連法令の改正時に受講を義務付けることなどを検討されたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 基本指針に則した自己点検・評価が適正に行われている。また、徳島大学ホームページにて平成 23 年度より徳島大学動物実験管理規則、徳島大学動物実験委員会委員名簿、自己点検評価報告書等の情報公開を行なっている。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見 特になし。
